

富山県内における麻疹アウトブレイクについて（2026年6～7月）

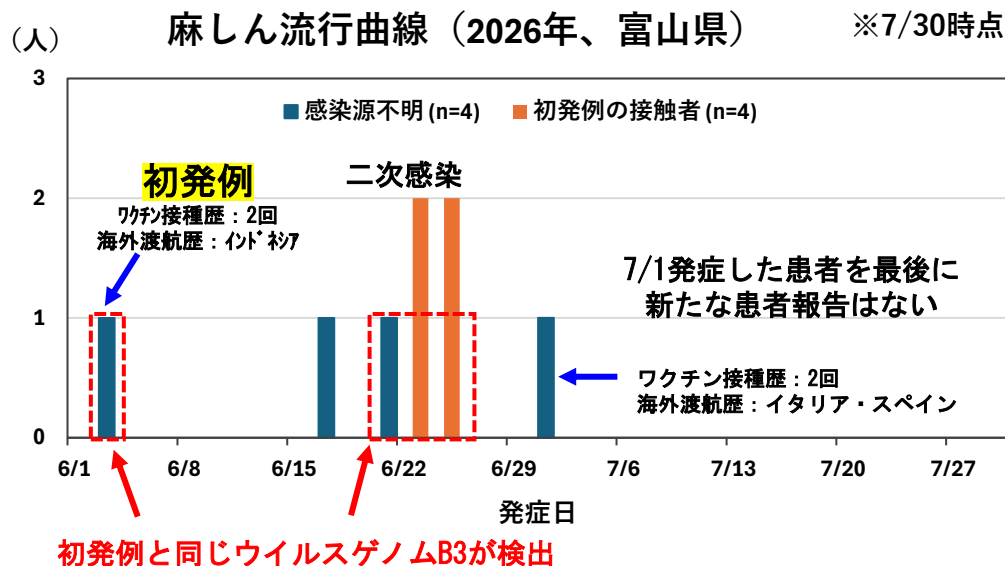


表. 麻しん症例の基礎集計

	症例数	%
全症例数	8	
男性	5	63%
年代		
20歳代	3	38%
30歳代	1	13%
40歳代	4	50%
ワクチン接種歴		
0回	0	0%
1回	4	50%
2回	4	50%

概要

- 6/3に発症したインドネシアからの輸入症例と考えられる麻しん患者（初発例）が報告された。
- その後、初発例を含め、8例の麻しん患者が報告され、全例、少なくとも1回のワクチン接種歴があった。その内、4例は初発例との接触歴があり、二次感染例と考えられた。
- 6/21に発症した感染源不明例は、初発例と同じ遺伝子配列（B3型）が確認された。明らかな接触歴は無いものの、初発例からの二次感染である可能性が示唆された。
- 初発例は、2回のワクチン接種歴がある、修飾麻しんであった。
多くの国内事例において、2回のワクチン接種歴がある患者からの二次感染はほとんど確認されていないとされているが[1-3]、本事例では、少なくとも4例の二次感染が発生した。
- 今後の麻しん患者発生時には、2回のワクチン接種歴がある修飾麻しん患者であっても二次感染が起こりうることを想定した対応が必要である。

BVD（ブンディブギョエボラウイルス病）アウトブレイクについて

参考資料5
(衛生研究所作成)

発生概要

- ・2026年5月15日、コンゴ民主共和国（DRC）で17回目のエボラ出血熱アウトブレイクを宣言
- ・原因はブンディブギョウイルス（Bundibugyo virus）
- ・同日、ウガンダでも輸入症例を確認
- ・5月16日、WHOはPHEIC（国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態）を宣言
- ・今回は過去の流行よりはるかに速く広がっており、現在史上3番目に大きなエボラ流行となっている（下図参考）

疫学（CDCホームページ参照 <https://www.cdc.gov/ebola/situation-summary/index.html>）

- ・DRC（2026年7月26日現在）
3,262例（確定例）、1,437名死亡（致命率約44%）
主な感染地域：イツリ州（ルワンパラ、モンワル、ブニア）
- ・ウガンダ（2026年7月27日現在）
20例（確定例）、2名死亡
- ・フランス（2026年6月24日現在）
1例（確定例）

特徴・課題

- ・BVDの認可ワクチン・特異的治療薬なし（ザイール株のワクチンは実用段階にある）
- ・医療従事者への感染・死亡が発生
- ・国境を越えた伝播リスク
- ・日本国内では感染症法上の一類感染症に位置付けられている

国内（県内）での対応体制

- ・一類感染症として、届出・入院・就業制限等の措置の対象
- ・患者は**第一種感染症指定医療機関**へ移送・入院
- ・JIHS国立感染症研究所にてPCR検査対応

エボラ出血熱発生の年表

年	国	エボラウイルスの型	症例数	死亡者数	致死率
2017	コンゴ民主共和国	ザイール	8	4	50
2015	イタリヤ	ザイール	1	0	0
2014	コンゴ民主共和国	ザイール	66	49	74
2014	スペイン	ザイール	1	0	0
2014	イギリス	ザイール	1	0	0
2014	アメリカ	ザイール	4	1	25
2014	セネガル	ザイール	1	0	0
2014	マリ	ザイール	8	6	75
2014	ナイジェリア	ザイール	20	8	40
2014-2016	シエラレオネ	ザイール	*14124	*3956	*28
2014-2016	リベリア	ザイール	*10875	*4809	*45
2014-2016	ギニア	ザイール	*3811	*2543	*67
2012	コンゴ民主共和国	ブンディブギョ	57	29	51
2012	ウガンダ	スーダン	7	4	57
2012	ウガンダ	スーダン	24	17	71
2011	ウガンダ	スーダン	1	1	100
2008	コンゴ民主共和国	ザイール	32	14	44
2007	ウガンダ	ブンディブギョ	149	37	25
2007	コンゴ民主共和国	ザイール	264	187	71
2005	コンゴ民主共和国	ザイール	12	10	83
2004	スーダン	スーダン	17	7	41
2003(11月-12月)	コンゴ民主共和国	ザイール	35	29	83
2003(1月-4月)	コンゴ民主共和国	ザイール	143	128	90
2001-2002	コンゴ民主共和国	ザイール	59	44	75
2001-2002	ガボン	ザイール	65	53	82
2000	ウガンダ	スーダン	425	224	53
1996	南アフリカ	ザイール	1	1	100
1996(7月-12月)	ガボン	ザイール	60	45	75
1996(1月-4月)	ガボン	ザイール	31	21	68
1995	コンゴ民主共和国	ザイール	315	254	81
1994	コートジボワール	タイフォレスト	1	0	0
1994	ガボン	ザイール	52	31	60
1979	スーダン	スーダン	34	22	65
1977	コンゴ民主共和国	ザイール	1	1	100
1976	スーダン	スーダン	284	151	53
1976	コンゴ民主共和国	ザイール	318	280	88

*疑い患者、可能性の高い患者、確定患者を含む

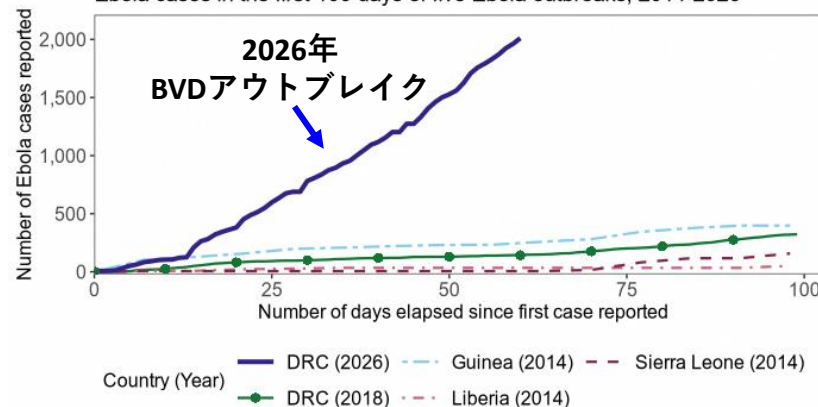
これまで多くはザイール株によるもので、こちらは現在ワクチンによる制御ができつつある

BVDのアウトブレイクはこれまで**2回のみ**！

BVDはワクチンによる制御ができていない！

厚労省検疫所FORTH
ホームページより抜粋

Ebola cases in the first 100 days of five Ebola outbreaks, 2014-2026



*Cases shown based on date reported. Data sources: DRC INSP, WHO. Data for DRC (2026) are as of Jul 13, 2026.

2026年のエボラ出血熱発生の最初の100日間の感染者数と、
2014年および2018年の同時期の感染者数

<https://www.cdc.gov/ebola/situation-summary/index.html>